

各 位

上場会社名	水道機工株式会社
代表者	代表取締役社長 佐藤 眞理
(コード番号)	6403)
問合せ先責任者	常務執行役員管理本部長 金丸 益久
(TEL)	03-3426-2131)

業績予想及び配当予想の修正(復配)に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月7日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,000	170	220	160	7.46
今回修正予想(B)	14,963	353	411	288	13.43
増減額(B-A)	△1,037	183	191	128	
増減率(%)	△6.5	107.6	86.8	80.0	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	16,173	382	437	363	16.95

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,100	100	150	110	5.13
今回修正予想(B)	12,447	292	357	319	14.87
増減額(B-A)	△653	192	207	209	
増減率(%)	△5.0	192.0	138.0	190.0	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	13,742	236	312	286	13.36

修正の理由

(1) 連結業績予想

売上高は、主力の上下水道部門については、公共投資縮減が続く厳しい状況より、当初の予想を1億弱下回る見込みです。また、環境部門については民間の設備投資が低調に推移したことから、当初予想を7億強下回る見込みとなりました。営業利益、経常利益については、売上高の減少がありましたが、選別受注の徹底や個別プロジェクトごとの採算管理徹底による原価低減、ならびに固定費の削減を徹底した結果、当初予想を上回る見込みです。当期純利益については、来年度からの連結納税制度導入に伴い、対象子会社の繰延税金資産を取り崩したことによる法人税等調整額の増加がありましたが、上記利益の増加により、当初予想を上回る見込みです。

(2) 個別業績予想

売上高については、上記(1)と概ね同様の理由であります。営業利益、経常利益につきましても、上記(1)と概ね同様の理由であり、以上より当期純利益についても当初予想を上回る見込みです。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成22年5月7日発表)	—	0.00	—	0.00	0.00
今回修正予想	—	—	—	2.50	2.50
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成22年3月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

修正の理由

当社は、株主の皆様への利益配分を経営上の重要課題と認識しており、長期にわたり安定的な経営基盤の確保に努めることを重視し、配当については安定配当の継続性を第一義としながらも業績を勘案して上乘せし、株主の皆様への利益還元を努めることを基本方針としております。

当社グループの関連する水処理業界においては、公共事業の継続的な削減や民間設備投資の抑制を背景に厳しい経営環境が続く、平成19年3月期以降は無配継続となるなど、株主の皆様には大変ご迷惑をお掛けしてまいりました。

この間、当社グループは各種の経営改革を断行し、事業構造の転換、収益力の強化へと取り組み、安定的な経営基盤の構築を進めてまいりましたが、現在の利益水準や今後における事業展開等を総合的に勘案した結果、この度、復配が可能となる見通しとなったことから、株主の皆様のこれまでのご支援にお応えすべく、配当を実施する方針といたしました。

なお、配当につきましては、平成23年6月29日開催予定の第107回定時株主総会の決議を経て実施する予定です。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上